

**(株)ミナサポの設立を選挙公約に上げた思いは**

市長 人口減少・流出や雇用の場である事業所の減少を止めるため。



中村 久幸 議員

**地域商社 株式会社 ミナサポについて**

**議員** 設立日や所在地、どのような会社で、設立時の事業計画、また目標等、市長がどのような思いで設立をされたのか。

**市長** 平成30年10月31日に旧長野小学校跡を企業所在地として設立。公共施設への電力小売事業により収入基盤を整え、出資企業の協力の下、地域事業所のIT活用などのサポートに取り組むこととしている。

設立に込めた思いは主

要産業である農水産業やそうめん産業等、全ての産業が活性化することにより、私が掲げる「これからの住み続けたい、住んでみたいまちづくり」が実現できると考え、その役割の一端を担う会社として設立した。

**議員** 電気小売事業の実績については。

**地域振興部長** 2019年度の売上高は1億1,673万円、当期純利益は637万円となつている。現在、電力を供給しているのは市の施設90施設、ほとんどの公共施設を供給しており、前年度と比較して、電気代にして2,775万3千円が削減できている。

**議員** 収益を地域に還元することを目指すとあるが、取り組まれている事業は。

**地域振興部長** 小中学生を対象にしたプログラミング教室、あと、事業者支援として、ホームページ作成のサポート等。10月から一般家庭用の

電力プランもサービスを開始した。

**議員** この会社の出資者は南島原市と親和銀行、それに東京のIT関連企業3社、この5社で設立されて、代表取締役は本市の山口副市長、3社の代表はそれぞれ取締役で親和銀行が監査役になつているが、役員報酬は一切なしというのは本当か。

**地域振興部長** 5人全員の取締役の申合せにより、収益は市のため地域に還元するという事で、無償にしてもらつている。



(株)ミナサポ (旧長野小学校)

- ・その他の質問
- ・コレジオホールのトイレ修理・改修について
- ・通学路の整備について



**南島原市在住盲ろう者への支援の体制づくりはどうなっているか**

福祉保健部長 南島原市社会福祉協議会へ業務委託。市内3か所、年間72回の事業実施をしている。



近藤 一宇 議員

**福祉政策について**

**議員** 盲ろう者の中で点訳の広報紙が求められていないということだが、ボランティア団体からの情報ではなく、市独自で調査すべきであると思うが。

**福祉保健部長** 視覚・聴覚障害者の集いの場などで調査等をしてみたい。

**議員** 点訳ボランティア活動の場に市の施設の一部を提供できないか。ボランティアグループに助成金が出せないか。

**福祉保健部長** 生涯学習センターカマズで活動されている。

**市長** 南島原市社会福祉協議会にボランティア活動の支援事業として独自の助成金制度がある。この制度を有効活用していただきたい。

**コロナ禍における生活支援について**

**議員** いろいろな生活支援があつた中で、次の支援事業の効果を聞かせてほしい。

**福祉保健部長** 南島原市妊婦応援新生児特別定額給付金で、4月28日以後に生まれた新生児124件126名に1人当たり10万円給付。厳しい経済状況の中、各家庭の一助になつていると考えている。

**地域振興部長** 「ふるさと支え愛プロジェクト」は、受付件数、送付件数627件で、感謝のメッセージをいただいた。「中小・小規模事業者等事業継続支援金」は、法人162件、個人562件、合計724件、総額1億4,440万円を交付し、支援できたのではないかと思つている。

**公衆トイレについて**

**議員** トイレ掃除費用汲み取り、故障修理代などを含め、公衆トイレにかかる費用は。

**各部署長** 公衆トイレは、南島原市に55か所。管理費用は令和元年度2,248万円。

**議員** 原城跡駐車場、花房展望所はウォッシュレットのトイレで、できて長くないが、ティッシュペーパーが詰め込まれたり、散らかしたり、よく流しなかつたり、とにかくマナーが悪い。マナーをよくするように市は考えるべきでは。

**総務部長** トイレ使用のマナーについては基本的には使用者が守るべきもの。場合によっては、注意喚起の貼り紙やポスターの掲示が必要だと考えている。



きれいに使用されたトイレ

